

専門研究B
(重点推進研究)

特別支援学級における自閉症のある児童生徒への
国語科指導の実際

—習得状況の把握と指導内容の編成及び実践を中心に—

(平成22年度～23年度)

研究成果報告書

平成24年3月



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

目 次

はじめに	1
研究の背景と目的	2
第 I 部 国語科学習評価シートの作成	7
1. 目的	7
2. 国語科学習評価シートの作成の背景	7
(1) 自閉症・情緒障害特別支援学級の現状	7
(2) 自閉症・情緒障害特別支援学級における特別の教育課程編成	8
(3) 国語科学習評価シートの必要性	9
3. 国語科学習評価シートの作成及び実施方法	12
(1) 国語科学習評価シートの考え方	12
(2) 国語科学習評価シートの作成方法	12
(3) 国語科学習評価シートの実際	18
(4) 国語科学習評価シートの実施方法	26
4. 国語科学習評価結果を反映させた指導内容等の編成について	27
5. 国語科学習評価シートを使用した感想(結果)	31
6. 文献	32
第 II 部 自閉症・情緒障害特別支援学級における国語科指導の実際	35
1. 研究協力校の実態	35
2. 研究目的	37
3. 研究方法	37
4. 結果 1 : 平成 22 年度末の国語科学習評価シートによる習得状況の結果	37
5. 結果 2 : 平成 23 年度の国語科指導における指導内容等の編成	42
(1) 対象児童生徒における国語科指導の枠組み	42
(2) 対象児童生徒における国語科指導内容の重点化及び簡素化	45
(3) 対象児童生徒の国語科指導における配慮	47
6. 結果 3 : 平成 23 年度の国語科年間指導計画について	49
7. 結果 4 : 各担当教員の国語科指導方針	50
8. 結果 5 : 各事例における国語科指導の実際	51
(1) 単元(題材)及び単元のねらい	52
(2) 単元計画	52
(3) 自閉症の特性等を考慮した活動の工夫や配慮事項	52
9. 考察	53

(1) 実践事例における自閉症のある児童生徒の国語科学習の習得状況	53
(2) 国語科学習評価シートの結果を踏まえた 国語科指導の内容の編成について	56
(3) 実践事例から理解できる自閉症のある児童生徒の特性を踏まえた指導	58
10. 文献	61
まとめ	63
研究組織	65
資料編	67
資料①国語科学習評価シート(1～2年生用)	69
資料②国語科学習評価シート(3～4年生用)	71
資料③国語科学習評価シート(5～6年生用)	73
資料④国語科学習評価シート(中1年生用)	75
資料⑤国語科学習評価シート(中2～3年生用)	77
資料⑥国語科学習評価シートのまとめ	80
資料⑦国語科学習評価シートの活用及び指導計画等への反映フォーマット(枠組み)	…81
資料⑧国語科学習評価シートの活用及び指導計画等への反映フォーマット(内容)	…82
資料⑨国語科学習評価シートの活用及び指導計画等への反映フォーマット(配慮)	…83

はじめに

自閉症のある児童生徒は、知的障害の有無や適応状態によって、特別支援学校、特別支援学級及び通級による指導といった特別な指導の場が用意されている。さらに、通常の学級においても、自閉症の特性に応じた配慮がなされつつある。

しかし、それぞれ指導の場の教育条件が大きく異なることから、指導内容や指導方法、環境設定の在り方については、その共通性と特異性を分析し、かつ、そのことを踏まえながら、自閉症のある児童生徒の全体像を視野に入れて検討し、総合的な提言が必要と考える。

特に自閉症・情緒障害特別支援学級においては、平成 21 年 2 月 3 日付けの文部科学省通知によって、特別支援学級の対象を従前の情緒障害者から自閉症・情緒障害者に名称を変更したことで、さらなる自閉症教育の充実が求められると考えている。さらに、近年、自閉症・情緒障害特別支援学級は、毎年 5,000 人程度の在籍者数が増加し、学級数も 1,000 学級ずつ増加している状況である。

また、平成 18 年に実施した当時の情緒障害特殊学級の実態調査では、小学校で約 75%、中学校では 60%が自閉症のある児童生徒が在籍している結果が示され、自閉症・情緒障害特別支援学級の特別の教育課程の編成や、具体的な指導についてモデル案を提示する必要があると考える。

本研究成果報告書は、平成 22 年度～23 年度に実施した専門研究 B（重点推進研究）「特別支援学級における自閉症のある児童生徒への国語科指導の実際－習得状況の把握と指導内容の編成及び実践を中心に－」（本研究課題は、開始当初の「特別支援学級における自閉症のある児童生徒のカリキュラムアセスメント（仮称）に基づいた教育課程編成の実証的研究」の表題を改変したものである）をまとめたものであり、さらに別冊では、7 校の研究協力校である自閉症・情緒障害特別支援学級での国語科指導の実践をまとめている。

研究代表者としては、本研究に関する一連の成果報告書が、急増する自閉症・情緒障害特別支援学級での特別の教育課程の編成や、国語科指導の一助になることを希望している。

研究代表者 教育情報部上席総括研究員 廣瀬 由美子